



京丹後に棲む  
絶滅危惧種のハヤブサ

# ハヤブサ

ニュース No.81

2023. 2. 14

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

## 軍拡進める防衛省・米軍に抗議! 京丹後現地訪問活動に参加を! 池田



米軍基地前での「撤去せよ!」のアピール

岸田政権の戦争政策の推進のなか、京丹後の米軍 X バンドレーダー基地もまた強化されています。

基地の監視体制強化が進み、今後は土地利用規制法の下での「特別注視区域」への指定が予測されています。

昨年 11 月に京丹後市網野街で起こった米軍属による人身事故の隠ぺい問題については、近畿中部防衛局と京丹後市がその対応についての「検証」結果を発表しました。「米軍に対して詳細な事実確認を迅速に行わなかった受け身の対応」(防衛局)だったなどしていますが、不十分です。米軍におもねる住民軽視の無責任なあり方を根本から点検し、交通事故の公表についてもすみやかな全面開示を行うべきです。

3 月 10 日は京丹後市の 3 月議会の開催中であり、京丹後市役所前でのアピール行動を含めて行います。寒さが続くなか、無理のないご参加をお願いします。

### 京丹後訪問案内

2月20日(月)、3月10日(金) いづれも午前8時30分

鴨川五条大橋西詰ガソリンスタンド前集合

3/10 行動は、京丹後市役所前でのアピール行動があります。

\* 参加予定の方は事前連絡を(池田 090-7108-5508)

## 「街なかビラ」の報告と

今後のお知らせ (文責 白井)

### 2023 年 1 月の報告

第 146 回 1 月 20 日(金) 大手筋商店街 8 人  
昨年は雪や雨で中止が 7 回もあったので、今年初めてのこの日は雨でも出来る所にしたが好天でした

#### <街の人の声>

- 息子が経ヶ岬にキャンプに行くが、こんなあったら迷惑やなあ。(女)
- 米軍にいて貰わんと困る(女)
- ビラを読んだ魚屋さん「そうか、そうか」(男)
- ご苦労さま、頑張ってるね(女)
- ★ビラを渡す時の声掛けをいろいろ変えている。戦争をさせたらダメですって言うても、無視する人が多い。声掛けの工夫が要る



伏見・大手筋商店街

### 2023 年 2 月の予定

第 147 回 2 月 14 日(火) 東山三条周辺 終了  
※報告はハヤブサ 3 月号になります。

第 148 回 2 月 24 日(金) JR「山科」駅周辺  
集合場所: JR「山科」駅前です。

時間は 11:00~12:00 です。

寒い季節ですし、コロナも油断できない状況です。暖かくして無理のない体調でご参加ください。

連絡先: 090 - 5672 - 1597 (白井)

# 強まる朝鮮半島の緊張と労働運動弾圧

池田高巖

## 強化される韓米軍事同盟



米軍の B1B 戦略爆撃機と韓国空軍合同軍事演習

岸田政権が安保 3 文書を通して日米安保と自衛隊の戦争体制づくりを画段階的に強めようとするのと並行して、朝鮮半島をめぐるのは韓国と米国の軍事同盟がますます強化されようとしている。

1 月 29 日から 31 日かけて、米国防長官オースティンが韓国を訪問し、韓国の国防相との会談を行った。それでは、米韓合同軍事演習の拡充、韓国での米軍の駐留・展開体制の強化、核を含む「拡大抑止」計画の具体化などが確認された。

米国・バイデン政権は、昨年 3 月の韓国での尹錫悦政権の発足をチャンスと捉え、米韓軍事同盟を強化し、韓国を自らの「インド太平洋戦略」により強力に組み込もうとしてきた。それは朝鮮半島および東アジアの緊張を高めるものになってきた。こうしたなかで、昨年 12 月には尹錫悦政権が韓国独自の「インド太平洋戦略」を発表している。それは、米韓軍事同盟を基軸としつつ、韓米日の三国の軍事協力を推進をもうたっている。また、「台湾海峡の平和と安定」が朝鮮半島問題と深い関係のあると確認することで「台湾有事」への韓国軍の介入の可能性を示唆している。それはこのかん米国政府が主導してつくられてきたアジアにおける重層的・集団的な安保体制の一角を構成しようとするものである。

今回の韓米国防相会談後の共同記者会見で、韓国の李鐘燮国防相は「力を通じた朝鮮半島の平和実現」と言う言葉を使っている。実際、その直後の 2 月 1 日には、米軍の B1 爆撃機や F35 ステルス戦闘機が参加する米韓共同訓練が実施された。しかし、軍事力によって平和が実現できるわけではない。このような軍事同盟、戦争体制の強化こそが、朝鮮半

島の平和と統一を阻害している。そうではなく、在韓米軍の撤退や日米韓軍事協力の中止を通して朝鮮民主主義人民共和国に対する軍事的圧迫をやめさせること、経済制裁を解除し、日朝・米朝の国交正常化へと向かうことこそが必要だ。

## 労働運動への弾圧にストライキで弾効



尹錫悦政権は同時に、労働運動に対する弾圧姿勢を強めている。安全運転賃金制（最低限の運送料の保障）などを求めて 11 月末から 16 日間にわたって続けられたトラック運転手などによる全国的な物流ストライキに対して、尹錫悦政権は「業務開始命令」を発令した。従わなければ、懲役刑または罰金刑がともなう。ストライキを行った民主労総の貨物連帯はこれを「戒厳令宣言」だと弾効した。

さらに、今年 1 月 18 日には、「国家保安法違反」の容疑で、韓国国家情報院が民主労総の中央本部と産別労組の事務所にも不当な家宅捜索が行われた。労組役員が中国で「北の工作人員」と接触していたという容疑だが、これは完全なでっちあげだ。民主労総は不当な家宅捜索を弾効し、「公安統治の復活と退行に抗して闘う」として、断固とした対決姿勢を示している。弾圧はまた、いくつかの市民団体にも広がっている。

安保体制の強化、戦争体制づくりと労働運動・民衆運動への弾圧強化は一体のものだ。それは日本の場合にもあてはまる。

排外主義煽動を許さず、たたかう韓国の労働者・民衆と連帯し、朝鮮半島と東アジアでの戦争体制づくりを阻止するために行動しよう。労働者の権利を守り、戦争を阻止する国際連帯が今こそ求められている。

# 「台湾有事」を煽って敵基地攻撃準備をする日米両政府を許さない

2023.2.13

大湾 宗則

## ロシア・ウクライナ戦争を利用する岸田政権

昨年 6 月 10 日、アジア安全保障会議で岸田首相は「今日のウクライナは明日の東アジアかもしれない」と基調演説し、「中国・朝鮮・ロシア」に対抗して国家と国民の命と財産を守るため、自由・民主・人権・法の支配など普遍的価値を共有する諸国と共同して米国主導の戦後の秩序を守る、と。そのために敵基地攻撃能力の保有と装備、その財源の裏打ちとして 5 年間で 43 兆円を支出すると 12/16 に閣議決定した。国民の多くは、政府とマスコミによる「大本営の戦時広報」で「軍拡賛成・増税反対」と政府の戦争準備を支持している。政府の戦争準備に反対するよう働きかけなければならない。

## 米軍・NATOが仕組んだ「ロシア・ウクライナ戦争」

昨年の 2 月 24 日、ロシアがウクライナに侵攻した。この事実は全世界から批判されている。

許せない。直ちにロシアは戦争を中止し、撤兵すべきである。しかし、この「ロシア・ウクライナ戦争」がなぜ起こったのか、「大ロシア帝国」を夢想するプーチン大統領が原因か、そんなところに原因があるはずがない。

今、米国と中国は、歴史的な経済と安保を巡る覇権を争っている。米国はこの覇権争いに勝利する為にはどんなことでも利用する。狙いは「一帯一路」構想の破綻に的を絞っており、「ロシアによるウクライナ侵攻」の世界的な批判が中国に及ぶよう戦略を進めている。

この歴史的な「経済と安保」を巡る世界的な覇権争いを無視して現代を掴んではならない。

ロシア革命でソ連(ソビエト連邦社会主義共和国)が誕生以来、米国・欧州の資本主義諸国は革命つぶしに干渉し、軍事的威嚇と経済制裁を続けてきた。日本もシベリアに 7 万余の兵を出して反革命干渉を行った。第二次大戦後は米国主導で始まり、「米ソ対立」を経て、1988 年ごろから東欧諸国のソ連圏から離脱・独立が始まり、ソ連は 1991 年 12 月に崩壊、ロシア共和国、東欧諸国も独立した。1990 年代に民主化=資本主義回帰して再出発した東欧諸国では、多くの国営企業・インフラ施設は民営化され買い叩かれ、新興の新自由主義者(オルガリヒャー)と西側資本の餌食となった。

ロシア共和国ゴルバチョフ大統領の後継・エリツェンは、1997 年、緊張緩和の時代背景を受けて NATO の米国クリントン大統領、仏国シラク大統領らと「NATO・ロシア基本文書」

を交わした。中身は「1997 年以降は、NATO 諸国(当時参加国 16 カ国)以外の欧州に軍隊や兵器を配備しないこと」を約束するものであった。しかし、この約束は NATO によって破られた。

2 年後の 1999 年から東欧諸国など 14 カ国が NATO に加盟し、その中にルーマニアやポーランドにはイーゼス・アショアが、更にポーランドには PAC-3 などが配備されている。

こうした経過の中で 2004 ~ 2005 年のウクライナで起こった「オレンジ革命」、2014 年の「マイダンクーデター」は「EU・NATO 加盟」を掲げたウクライナの間層や新自由主義者が米国と共謀して体制転覆を図った内政干渉であったことが暴露されたが余り報道されていない。米国は、ベトナム戦争、アフガン戦争、イラク戦争で直接武力介入し、「兵士もドルも」浪費して権威も経済力も落ちぶれ、中国に経済覇権を狙われている。米軍は、これまでの戦争を反省し、NATO は直接軍事介入はせず、ウクライナを東方拡大に取り込み、ウクライナ人を武装させて戦場に追い込み、戦争で米国兵の死者を出さず、「援助」という名で国内兵器産業を肥え太らせ、「雇用」を増やしたと粹がっている。恥も外聞も誇りもなく欲と見栄だけだ。

## 東アジアでも日米がもくろむ「台湾有事」作道

米国は、西欧でウクライナが果たした役割を東アジアでは台湾に担わせようとしている。

「台湾有事」を画策しているのは米国だ。

バイデン政権は、台湾に武器を爆買いさせ、ペロシ下院議長を台湾に送り込み、国交回復準備行為を疑わせる外交攻勢を繰り返している。更に、米軍の責任者が「中国は台湾武力統一の準備をしている」というプロパガンダをしている。この脅威論はフェイクで捏造だ。

## 台湾が「独立」を公言しない限り、中国による「台湾武力統一」はあり得ない

台湾人民と中国人民の平和的合意で統一を進めるべきだ。米国や日本政府は、中国と国交回復した時、「中国は一つ」を確認し、台湾と断交し、中国の国連参加及び常任理事国入りを支持した。この基本を順守すべきだ。

また、中国の軍拡や海洋進出を「既存の秩序を力で変更する」と批判しているが、中国は公海を航行しおり、軍費も米国の 1/3 でしかない。朝鮮の核とミサイルも朝鮮が原因ではない。朝鮮戦争以来、日米韓「三国」が寄って集って軍事的威嚇と経済制裁をかけ、未だに国交も開

かず、朝鮮の生存を脅かしてきたことが朝鮮の「核とミサイル」実験につながっている。日米安保や韓米同盟を廃棄し、朝鮮の平和統一を進めれば朝鮮も軍費を人民に回すことができる。

**米軍は東アジアから撤退、自衛隊が矛も楯も。**  
嘉手納基地の F15 戦闘機 50 機が米国へ撤退。第一陣が昨年 12/1 に飛び立った。代替は F22 がアラスカ基地から循環するが常駐なし。抑止力の低下は明らか。2024 年、沖縄から米海兵隊 4000 人、グアム基地に移動。受け入れ OK。  
米軍が南西諸島に予定していた中距離ミサイル配備は、自衛隊の 12 式ミサイル配備があるので中止と決定。米軍の新戦略「沿岸部隊」は、素人目にさえ検討に値しない。自衛隊が矢面。

**敵基地攻撃の装備は無用の長物・税金の無駄!**  
時速 880 km/h のトマホーク 500 発購入、オスプレイ 509 km/h。トマホークもオスプレイも時速が遅く、制海権・制空権確保なしでは使い物にならない。ミサイル・核を持つ国家間の戦争で約 1000 km の 12 式(中距離弾道弾)による敵基地及び司令塔攻撃は全面戦争を意味する。又、経済利害(権益・国益)が絡んで全面戦争する覚悟もないのに脅威を煽って軍拡予算を浪費する自民・公明連立政府を許してはいけない。

### お知らせ

**安保3文書と大軍拡・大增税撤回を求める  
緊急集会⇒デモ(京都市役所まで)**  
2月19日(日) 16:00 ~ 16:40 円山野外音楽堂  
連絡先 050-7500-8550 (憲法9条京都の会)

キムボツン

### 金福童 京都上映会

日本軍「慰安婦」被害者で人権活動家の闘いの軌跡  
2月25日(土) 18:30 ~ 一般 1000 円 学生 500 円  
アバンティアー9階(響都ホール JR 八条口前)  
連絡先 こっぼんおり 090-5560-5037

### 京都ユニオン 春闘討論会

3月25日(土) 13:30 ~ 参加費 500 円  
キャンパス プラザ・京都 第一会議室  
主催: ユニオンネットワーク・京都 075-691-6191

## 「京都連絡会」 2月 例会

2月23日(木) 14:00~16:00

京都 ユニオン 2階事務所

京都市南区東九条上御霊町 64-1 アンビシヤス梅垣 2 階

### 日米安全保障条約成立の根拠と歴史的背景

国家安全保障戦略に反対し、日本の敵基地攻撃能力の保有を許さないために  
お話し 大湾 宗則さん (共同代表)

## 2023年度「京都連絡会」第9回総会 & 「近畿連絡会」旗開き

駒井高之



総会風景

2月5日、「京都連絡会」第9回総会と総会の後、「近畿連絡会」旗開きが京都府部落解放センター4階ホールで開かれ、それぞれ約40名が参加しました。

「京都連絡会」総会は吉水律子さんの司会で始められ、まず会員で亡くなられた山本純さん、平沢さん、仲尾宏さんへの黙祷が行われ、その後、服部恭子さんが議長に選出されました。

最初に共同代表の瀧川順朗さんが開会の挨拶をおこないました。瀧川さんは「私たちは安保、米軍基地、自衛隊基地、そういうものに対してしっかりと反対していくという立場を踏まえて、米軍 X バンドレーダー基地撤去の闘いをなお一層お互い強く意識して闘いにのぞんでいかなければならない。ぜひ皆さんの力を結集してこの闘いを進めていきたい。」と述べました。

次に各分野の活動報告が担当者からそれぞれおこなわれました。そして総括・方針の提案を池田高巖・京都連絡会事務局長がおこないました。討議の後採決し、第一議案の活動報告と総括・方針は反対0・保留0で可決されました。

第二議題の2022年度会計報告と2023年度予算案は白井美喜子・京都連絡会共同代表が提案し、採決の結果、反対0・保留0で可決され、併せて会計監査も了承されました。

第三議題の役員選出は立候補者全員が信任されました(役員名は次号会報に掲載)。

総会終了後、「近畿連絡会」旗開きが開かれ、永井友昭・京丹后市議をはじめ共闘団体からの発言、近畿各府県からの発言などがありました。

今年一年も頑張ろうと決意を固めた総会・旗開きになりました。